

【ロシア】2017-2019 年度連邦予算法の概要

海外立法情報課 小泉 悠

* 2017 年度予算及び 2018-2019 年の計画予算を規定する予算法が成立した。厳しい経済状況の下で緊縮財政を進める内容となった。

1 2017 年度予算法の背景

2016 年 12 月 19 日、2016 年度連邦法第 415 号「2017 年度のロシア連邦予算及び 2018-19 年の期間における計画予算について」（以下「2017 年度予算法」という。）が成立した（注 1）。ここではまず、2017 年度予算法の背景となるロシアの経済状況について概観する。

2014 年以降の石油及び天然ガスの国際価格下落により、ロシアは厳しい経済状況に直面することとなった。石油及び天然ガスは従来、政府歳入の約半分を占める重要財源であったが、1 バレルあたり 100 ドル程度と想定見積もられていた原油の国際価格が 2015 年末から 2016 年初頭にかけて 30 ドル台まで下落し、深刻な財源不足に見舞われることとなった。景気後退も深刻で、2015 年の経済成長率はマイナス 3.7%のマイナス成長となり、2016 年の経済成長率もマイナス 0.8%になる見込みである。ロシアは 2008 年以降、次年度分の予算とそれに続く 2 年分の「計画予算」を同時に策定してきたが、経済情勢の動向を見通すことが困難であるとして、2016 年度予算は単年度分のみの策定であった。

一方、2016 年には原油価格が 1 バレルあたり 50 ドルに達する局面が出てきたほか、2017 年には経済成長がプラスに転じるとの見込みも示されるようになった。こうした経済状況の変化を受けて、今回の 2017 年度予算法では次年度予算だけでなく 2018-19 年の計画予算も策定され、2015 年以前と同様の 3 か年予算となった。今後の 3 年間でロシア経済は緩やかな回復傾向に入り、その間にロシア政府は歳出カットによって財政赤字を GDP の 1.2% 程度まで抑制するというのが基本的なシナリオである。詳しい諸指標は表 1 に示した。

表 1 2017-2019 年度ロシア連邦予算の諸指標

諸指標	2017 年度	2018 年度（計画）	2019 年度（計画）
歳入	13 兆 4676 億	14 兆 285 億	14 兆 8448 億
歳出	16 兆 2498 億	16 兆 397 億	15 兆 9870 億
収支（△は赤字額）	△2 兆 7532 億	△2 兆 112 億	△1 兆 1422 億
GDP	86 兆 8060 億	92 兆 2960 億	98 兆 8600 億
財政赤字の対 GDP 比	3.2%	2.2%	1.2%
準備基金による赤字補填額	1 兆 1500 億	0	0
国民福祉基金による赤字補填額	6682 億	1 兆 1600 億	1397 億
GDP 成長率	0.6%	1.7%	2.1%
想定インフレ率	4%以内	4%以内	4%以内
1 米ドルの対ルーブル交換レート	67.5	68.7	71.1
原油 1 バレルあたりの価格	40 ドル	40 ドル	40 ドル
政府対内債務	10 兆 3516 億	11 兆 5809 億	12 兆 7884 億
政府対外債務	536 億ドル	528 億ドル	536 億ドル

（出典）2017 年度予算法を基に筆者作成。%とドル以外の単位はルーブルである。

2 2017年度予算法の概要及び特色

2017年度予算法においても、従来から実施されていた緊縮財政路線は維持されている。2016年度予算が総額16兆987億ルーブル（約27兆3678億円）（注2）であり、GDPに占める割合が約20.5%であるのに対し、2017年度の予算総額は16兆2498億ルーブル（約27兆6247億円）とやや増加したものの、対GDP比では約18.7%に低下する計画である。また、2018年度以降の連邦歳出予算は純減に転じ、2019年度には15兆9870億ルーブル（約27兆1779億円。対GDP比16%）となる計画である。ただし、当面は財政赤字が続くことには変化はない。従来は原油輸出の利益を積み立てた準備基金から赤字分を補填していたものの、原油価格が40ドルで推移した場合には、2017年度中に同基金は残高が払底する見通しである。このため、2017年度以降は年金基金の赤字補填に使われる国民福祉基金も取り崩す計画であるが、これも2019年度までに残高がほぼゼロとなる見込みである。

2017年度予算法に基づく項目別支出内訳は表2のとおりである。社会保障が最大の支出項目である点は従来と同様であり、2017年度には初めて5兆ルーブルを突破する見込みである。一方、第2位の支出項目である国防費は、過去最大の2016年度に比べて1兆ルーブル以上削減され、それ以降もほぼ同水準で推移する計画とされている。これまで国防費は高い伸び率を示してきたものの、2016年度は3兆8890億ルーブル（GDPの4.7%）にも達し、大きな財政負担となっていたことから、今回の大幅削減につながったものと見られる。これに対してインフラ整備予算や農林水産業に対する補助金等を含む国家経済費は大幅増額された結果、2017年には国家経済費が国防費と同額となった。その他の多くの項目は横ばい又は削減傾向にあるが、社会保障費、公債償還費、予算間振替（年金基金の補填分等）は増加が見込まれている。

表2 2015年度予算以降の項目別支出内訳

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度 (計画)	2019年度 (計画)
全国家的問題	1兆1180億	1兆980億	1兆1700億	1兆1260億	1兆1150億
国防	3兆1810億	3兆8890億	2兆8400億	2兆7280億	2兆8560億
国家安全保障・法秩序	1兆9660億	1兆9430億	1兆9680億	1兆9450億	2兆70億
国家経済	2兆3240億	2兆1660億	2兆8400億	2兆2470億	2兆540億
住宅政策	1440億	570億	600億	300億	270億
環境保護	500億	650億	760億	780億	800億
教育	6110億	5580億	5680億	5890億	5860億
文化	900億	920億	940億	880億	800億
保健	4660億	4660億	3770億	3940億	3600億
社会保障	4兆2650億	4兆6310億	5兆800億	4兆9620億	5兆540億
体育・スポーツ	730億	660億	860億	550億	340億
マスコミ	820億	760億	740億	680億	670億
公債償還費	5190億	6400億	7290億	8480億	8700億
予算間振替	6820億	6564億	7680億	7700億	7760億

（出典）ロシア連邦財務省による2017年度予算注解その他を基に筆者作成。単位はルーブルである。

注（インターネット情報は2016年12月13日現在である。）

(1) Федеральный закон от 19 декабря 2016 года N 415-ФЗ "О федеральном бюджете на 2017 год и на плановый период 2018 и 2019 годов" <<https://rg.ru/2016/12/23/budjet-dok.html>>

(2) 1ルーブルは約1.7円（平成28年12月分報告省令レート）である。